

■令和5年度以降の取組について

5-1-2 商業の活性化

(1) エール茨木プレミアム付商品券 【6月補正予算】

- ・物価高騰等により厳しい環境にある市民生活・事業活動を支援する。

【発行数】 約26万冊（市内の全世帯〈約13万世帯〉×2冊）

【販売額】 2,000円で5,000円分の商品券（1冊）を販売

（500円10枚綴り、うち6枚は全店・4枚は小型店舗のみで利用可能）

1世帯2冊まで購入可

【使用期間】 令和5年10月～令和6年1月（予定）

(2) 新たなまちづくりの動きを契機とした商業活性化【検討事項】

- ・おにクルやダムパークいばきたのオープンにより、多くの人の流れが想定される。

⇒ 商機となるよう、情報提供・機運醸成に努める。

事業者や商店街の取組のPR、商品開発・販売促進の支援の検討

5-1-3 企業活動への支援

(1) 事業活動支援給付金 【R4年度から拡充継続】

- ・物価高騰等の影響による厳しい経営状況を鑑み、事業継続を支援する。

【対象者】

①R4年度と同給付金の受給者

②事業に係る、令和4年10月分～令和5年3月分のうち、任意の最大3か月分の電気料金・ガス料金、燃料費（車両用を除く）の合計金額が5万円以上である中小企業又は個人事業主。

【給付額】 1事業者につき、一律5万円。

【申請期間】 令和5年5月1日～7月31日

【申請件数】 1,175件（6月20日時点）

(2) オープンカンパニー 【R5 年度試行】

- ・市民等を対象とした工場見学や体験を通じて、市内企業の認知度向上や人材育成・人材確保、取引先の拡大等を図る。

【実施時期】 令和5年11月（予定）

【参加企業数】 3～4企業（バスツアー）

【概要】 次年度の本格実施のための実施手法の検討などの準備を進め、トライアルとしてオープンカンパニーバスツアーを実施する。

(3) 産学金連携による中小企業の人材育成 【検討事項】

- ・各機関と連携して、事業者の新たな事業構想・計画作成を支援する。
事業者の経営課題の解決、多様な主体との交流促進
⇒ 参考：神戸大学（V-School）の事例

5-1-4 地域経済の成長を先導する事業者の創出・育成

(1) 創業支援

【創業支援ネットワークによる支援】

茨木商工会議所、日本政策金融公庫 吹田支店、北おおさか信用金庫、きたしん総合研究所、茨木市の5者で連携し、地域での創業を支援。
個別創業相談、集団セミナー等

【セミナー】

女性向け起業セミナー〈茨木市〉

入門編（1日間×年2回）・実践編（5日間×年1回）

起業志望者誘致セミナー〈創業支援ネットワーク共催〉

創業スクール2023〈商工会議所〉

【創業者のPR】

広報誌（各月）、市ホームページ等で紹介

【補助金等】

テナント改装費・賃借料、法人設立関連経費、融資に係る利子等の補助

【交流促進】

異業種交流会〈商工会議所〉

⇒「創業（チャレンジ）しやすいまち」のイメージアップ・PR